

II ビルシステム特集に寄せて



ビル事業部

事業部長 常岡俊一

21世紀を迎えてインターネットの急速な普及に伴う情報技術(Information Technology: IT)の進展は、各種システムのオープン化・ネットワーク化を一気に促進させている。国の政策支援によるインフラの整備も進み、“だれでも” “いつでも” “どこでも” 使えるシステムとサービスの提供が可能になりつつあると言える。ビルシステムにおいても決して例外ではなく、オープン化・ネットワーク化への対応が急がれている。しかしその一方で、インターネットを利用した犯罪などに代表される巧妙かつ増大する最近の犯罪情勢に対して、ビル入居者のセキュリティ意識も高まっている。ビルセキュリティシステムにも高度かつ多機能化・ネットワーク化への対応の需要が増加している。

また、地球温暖化防止などの環境問題も21世紀の地球規模の重要なテーマである。ビルシステムでは、ビル運営の視点において、以前から、ビルの企画・設計段階から廃棄までの生涯費用いわゆるライフサイクルコスト削減への対応が注目されてきたが、昨今では、特に省エネルギーや二酸化炭素排出量削減への対応が必要不可欠となってきた。

三菱電機では従来から昇降機の全国365日24時間体制のサービスを強味にしたビルシステムを販売展開してきたが、こうした21世紀のビル市場動向を踏まえて、さらに今回

“IT & ECO”をキーワードにしたセキュリティ重視・运营管理重視のビルシステムの開発に取り組むこととなった。

具体的には、ビル管理の分野ではオープン化対応・インターネット対応のビル管理システムやエネルギー管理手法を取り入れたビルマネジメントシステムを開発し、発売している。また、ビルセキュリティの分野では個人識別、特に生体識別技術に重点を置き、新しい小型指紋照合装置を開発した。指紋照合装置は利便性と安全性を併せ持ち、小型化かつ安価になったこともあってパソコンのログイン制御への使用などビル以外の用途でも急拡大している。

特に指紋照合装置の応用システムでは、以下に挙げる他社との共同開発を実施した。

- 松下電工(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)との  
“次世代マンション インテグレートッド システム”
- (株)NTTデータとの“指紋認証付きICカードリーダー  
イター”

今後とも多種・多用途化するビルセキュリティシステムやライフサイクルコスト削減のためのビルマネジメントシステムなどシステム&サービス開発に注力し、社会に貢献したいと考えている。

皆様の一層のご支援をお願いしたい。